

## 編集後記

今年7月23日から1年延期された東京オリンピック開催を控えています。この原稿を執筆している2020年12月時点ではまだ先行きを見通すことができません。ワクチンの効果でCOVID-19が終息し、東京オリンピックが無事開催されることを祈るばかりです。2020年12月時点ではCOVID-19拡大（第3波）が大きく報道されており、重症患者の増加とともに一部では医療体制が逼迫してきました。以前から冬になるとインフルエンザが流行し、インフルエンザ感染拡大に季節性があることが知られていましたが、SARS Cov2も冬に感染拡大するウイルスのようです。GO-TOトラベルは一時停止され、東京都知事は年末年始特別警報を発表し、年末年始の帰省を控える呼びかけを行いました。2020年は経済活動と医療環境が目まぐるしく変動する大変な一年でありました。米国や欧州の一部ではSARS Cov2に対するワクチン接種が始まっており、少なくとも短期的な効果は期待できそうとする報道がなされています。COVID-19ではめまい、頭痛などの神経症候を高

頻度に伴うので、神経内科医が初療する機会も少なくないと思っています。脳卒中診療ではCOVID-19対策と急性期診断・治療のバランスを考慮した取り組みが必要になりました。既にCOVID-19の疫学、病因、臨床像、医療体制・経済への影響、推奨（ガイドライン）、ワクチン開発など短期間のなかで多くの視点から調査、研究が報告されていますが、まだまだ症例の蓄積が必要と思います。COVID-19により経済的・社会的基盤の「グレート・リセット」が必要と報道され、医療分野は重要な社会的基盤の一つですので「リセット」の途上にあると思っています。短期間で学会や会議のオンライン基盤が整ってきました。オンラインを活用した遠隔医療も普及しつつあり、医療情報のデジタル共有化が進んでいく可能性があります。出張機会が激減したこの時期に、巣ごもりしながらCOVID-19を含めた症例報告や研究成果を「臨床神経学」にご投稿いただきたく存じます。

(古賀 政利)

## 〈編集委員〉

編集委員長 園生 雅弘 編集副委員長 高尾 昌樹  
 編集委員 荒木 信夫 飯塚 高浩 池田 昭夫 亀井 聡 古賀 政利  
 鈴木 匡子 坪井 義夫 西野 一三 星野 晴彦  
 編集委員(幹事兼任) 小野寺 理 新野 正明 三澤 園子

「臨床神経学」 第61巻 第2号 2021年2月1日発行  
 編集者 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル 一般社団法人日本神経学会  
 発行者 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル 戸田 達史  
 印刷所 〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入 中西印刷株式会社

発行所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル  
 日本神経学会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：<http://www.neurology-jp.org/>